

演説原稿 2015. 2. 22 演説会

えんど久子

きのう雨の中で最後まで演説を聞いてくださった方から「今日ビラが入っていた。私は75歳すぎたけど年金が少ないけん、朝はよから働きよんのや」と言われました。「消費税は上がるし年金は下がるし、国保税や介護保険料が高くて先行き不安」などの切実な声をたくさん寄せていただいています。

先日は野田紀子さんと訪問したところでこう言われました。「小学校6年生の息子が共産党が好きだ、安倍首相は怖いって泣くんです」「僕たち戦争に行かされるのか」と小学生が不安で怖くて泣いているというんです。これは政治の責任です。

国民が心を痛めているテロを口実にして戦争する国へと暴走を加速し、アベノミクスで格差を広げるばかりの安倍政権。絶対に許せないと日本共産党はがんばっています。

日本共産党を大きくしてください。

この国の悪政から県民の暮らしを守る防波堤となるのが県や市の仕事です。ところが、大分県政は国言いなりで、まるで国の出先機関のようです。市町村合併も全国トップクラスです。安倍首相言いなりの県政では県民の暮らしは守れません。

その大分県政をチェックし、「それはおかしいよ」と、正していくのが県議会の役割です。しかし、その県議会は、ほとんどが与党。大分市の日本共産党堤栄三ただ一人を除いて、みんな与党。

与党議員は、知事の提案に何でも賛成です。本当にひとつひとつの議案の中身を理解して賛成しているのかという議員もいます。これでは議会の役割を果たせないのではないのでしょうか。

私えんど久子は、藤ヶ谷のゴミ焼却場をめぐる暴力団に税金が流れた問題などでも、おかしいことはおかしいとモノを言いがんばってきました。

女性の視点を活かしていっそう大好きな別府のお役に立たせていただきたいと、県議選に思い切って挑戦する決意をし、全力でがんばっています。

私は、次のことをみなさんと力をあわせて実現します。

1. 高すぎる国民健康保険税を引き下げ払える国保税にします。別府でも情け容赦のない差し押さえをやっていました。

国保税の引き下げを求めてきたのは日本共産党だけ。

少ない年金でも入れる特別養護老人ホームを増やします。要支援1・2の方が市町村のサービスに移される。これは全国で7%の自治体しか来年度実施しないのに、大分県では半数以上が来年度からやるという、全国で一番国の言いなりです。

こんな県政を変えていきましょう。

2. 子どもの医療費は中学生まで通院も無料にします。

中学卒業まで通院の助成している自治体は全国の5割。非正規雇用は3人に1人以上、子どもの貧困が大きな社会問題になる中誰もが安心して病院にかかれるようにしていきます。

重度障がい者のみなさんは、現物給付にして、立て替え払いがないようにします。

児童館・子育て支援センターなどのを増やしてきましたが、今後とも母親代表としてがんばります。

3. 30人学級をひろげ、正規教員の増員で、行き届いた教育をすすめます。

大分県教育委員会より文部科学省のほうが前向きです。県下で不登校の子どもたちが1200人あまり。毎年10人前後の教員が現役で亡くなり、自殺は10年間で12人もいます。

そんな状況の学校で健やかに子どもたちが育つのでしょうか。補助教員や図書館司書さんなど増やしてきましたが、今度は正規教員を増やします。

教員定数削減に反対してきたのは日本共産党だけ。他の議員はものも言わずに全員賛成し、2011年以降324人も正規教員の定数を減らしています。

別府から出ている県議も教員出身の議員さん含め全員賛成しているのは本当に残念です。

4. おんせん県大分の中心にふさわしく県の支援を強め、元気な別府に市民のみなさんと一緒にがんばります。

生まれ育った別府に暮らして温泉を満喫できて本当に幸せです。もっと多くの方に豊かな温泉の恵みを味わってもらいたい。そのために温泉仲間や市民のみなさんと一緒にがんばります。

私は別府市議会議員として、未熟な私をみなさんに育てていただきながら、4期16年間がんばってきました。みなさんと力をあわせていろいろな成果をあげることができました。

ただ、別府には8年間日本共産党の県議会議員がいません。女性の県議会議員もいません。直接大分県政に声を届けたいと、私えんど久子は4月の県議選への挑戦を決意しました。

必ず議席を得て身近に使っていただきたい。

大変思い切った挑戦ですが、全力でがんばっています。みなさんにもこれまで以上のご支援をお願いしなければなりません、どうぞよろしく願いいたします。

がんばります！みんなで必ず勝利しましょう！！